2014年度入学式

式辞

矢野 建一 学長

勉学通じ身につけたもの 大きな差を生み出す

専修大学は、今年の秋、創立135年を迎えます。全国でも有数の伝統ある大学と申し上げて差し支えないでしょう。アメリカのコロンビア、エール、ハーバード大学などに留学し、最先端の法律学、経済学を学んで帰国した相馬永胤、田尻稲次郎、目賀田種太郎、駒井重格によって、1880（明治13）年、創立された「専修学校」がその前身であります。

その「創立主旨」によれば、専修学校は、法律学や経済学に志あるものであれば、年齢・学歴を問わず誰にでも入学を許可すると明記しています。当時は近代国家形成に向かって多くの有為な人材を必要としていました。設立主旨は、こうした状況のなかで官学に抗して私学の存在意義、役割を高らかに謳いあげたのであります。

創立者たちの思いは、言いますが、これは本来、ラテン語の「引き出す」という意味の動詞であるエデゥカーシオを語源としています。つまり皆さんが内に秘めたさまざまな能力や資質、可能性を積極的に引き出し、光を当て、現代の社会のさまざまな課題をみずから発見し、すすんで解決する能力を身につけることであります。

こうした目標に立って、2014年4月、つまり皆さんの入学と同時に、新しい学士課程教育をスタートします。多様化する現代社会を生き抜く知力を身につけ、四つの課程を経ることによって基礎から応用の段階にスムーズに移行できるよう科目群を編成しています。皆さんはこうした栄えある新たな学士課程教育の第1期生であることを忘れないでいただきたいと思います。

ただ、ここで最も大切なのは、どんなに施設やカリキュラムが整備されたとしても最終的に学ぶのは皆さん自身だということです。

中国清代の教育の入門書『三字経』の冒頭1行目に、「性相近、習相遠」（性は相近し、習は相遠し）と記されています。新入生は父母に手を引かれ、この本と孔子廟に供える花と線香、そして束修（授業料）をもって師匠のもとを訪ねたといわれています。ここで性というのは人がもって生まれた素質や能力のことで、習いは文字通り何度も繰り返すこと、ドリルのことです。

すなわち、人の能力や素質はだいたい似たようなものだが、勉学を通じて身につけたものは、いつか知らず知らずのうちに大きな差を生み出しています、という意味です。

このたび、専修大学に入学された4697人の皆さんの性＝能力にはほとんど差がありません。あとは習＝日々の研さんに向けて大胆な一歩を踏み出すだけです。みなさんの4年間の健闘に期待して、専修大学第16代学長の式辞といたします。

（要旨）

祝辞

日髙 義博理事長

専修大学は変身の場 得意分野を社会で生かそう

3年前の東日本大震災では、専修大学も被災しました。石巻専修大学では建物の被害はありませんでしたが、7人の学生を失いました。専修大学では神田キャンパスで1棟、生田キャンパスで2棟の校舎が使えない状態になり、創立140年、150年に向けて準備していた両キャンパスの整備計画は、構想や設計の抜本的な見直しが必要になりました。

ちょうどこの4月、神田キャンパスでは学びの拠点になる新5号館が完成しました。生田キャンパスでは国際交流会館が5月にオープンします。また、生田新体育寮・新体育館が今年度中に顔を出すことになります。一番被害の大きかった3号館は7階建てと低層3階建ての建物に生まれ変わり、来年5月には完成する予定です。

さて、私も昭和41（1966）年に専修大学法学部に入学し、ここ日本武道館で入学式を迎えました。まだ経済状態が厳しい時代でしたが、こんな華やかな場所での入学式に感激しました。ここから私の刑法学者としての第一歩が始まりました。

専修大学は学生の多くが「変身する」場所であります。今までは偏差値が皆さんを縛ってきたと思いますが、偏差値は高校までの学力の尺度であって、大学や社会での尺度ではありません。皆さんの持っている総合力や分析力、行動力、説得力こそが大事で、これからさらに養わなければならないものです。

卒業生は現在27万人いますが、いろいろな所に驚くほど素晴らしい人材がいるのが専修大学です。少し地味だといわれるのは、専修大学を創立した4人の人物像と関係しているかもしれません。自分に課せられた責任を着々と実行し、使命を果たしたい。

偏差値の呪縛を解き放ち、自分本来の力を発揮するために、日々研さんしていただきたいと思います。

（要旨）

新専任教員

新たに31人が専任教員となった（4月1日付）。各教員の氏名、職名、主な担当科目は次のとおり（敬称略）。

【経済学部】

内川 秀二 教授 「経済時事英語」
恒木 健太郎 講師 「経済学史」
枡田 大知彦 講師 「西洋経済史」
松田 智穂子 講師 「英語」

【法学部】

土田 亮 教授 「会社法概論」
飯 考行 准教授 「法社会学」

【経営学部】

宮地 忠彦 准教授 「現代日本政治論」
萬澤 陽子 講師 「会社法」
高嶋 陽子 助教 「国際法」
三宅 秀道 准教授 「ベンチャー・ビジネス論」
楊 陽 助教 「マーケティング入門1・2」
西本 万映子 特任教授 「キャリア入門」

【商学部】

石原 裕也 教授 「財務会計論」
谷守 正行 准教授 「原価計算論」
中原 孝信 講師 「マーケティング情報」
松本 徹 講師 「財務会計論」
宮田 宗彦 講師 「英語」
趙 時英 助教 「流通論」

【文学部】

山本 充 教授 「地誌学」
今井 上 准教授 「日本文学講義」
小山内 伸 准教授 「演劇研究」
押山 美知子 助教 「マンガ研究」
西澤 美穂子 助教 「総合世界史」
岩崎 貞明 特任教授 「放送学」
神山 安弘 特任教授 「教職実践演習」

【ネットワーク情報学部】

小田切 健太 講師 「物理学」
河野 敏鑑 講師 「モデル分析」
高野 祐一 講師 「数理計画法」
佐藤 厚 特任教授 「コリア語」

【法務研究科】

藤代 浩則 教授 「行政法総合演習」
稲垣 悠一 講師 「刑法」

都合により写真は掲載いたしません